

電子書籍時代における 大学図書館の使命と役割



東海北陸地区国立大学図書館協会主催研修
「電子書籍が変える大学と図書館」

日時: 2011年10月3日(月)
会場: 富山大学 五福キャンパス

岡本真 (@arg)

アカデミック・リソース・ガイド株式会社
代表取締役／プロデューサー

自己紹介－岡本真（おかもと・まこと）

1. アカデミック・リソース・ガイド株式会社（2009年～）
 - 代表取締役／プロデューサー（2009年～）
 - ACADEMIC RESOURCE GUIDE編集長（1998年～）
2. オーマ株式会社（2008年～）
 - 代表取締役（2011年～）
3. saveMLAKプロジェクト（2011年～）
 - プロジェクトリーダー（2011年～）
4. iSPP 情報支援プロボノ・プラットフォーム（2011年～）
 - 共同代表理事（2011年～）
5. NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ（2002年～）
 - 理事（2010年～）

[参考]

過去の岡本真(おかもと・まこと)

- 国際基督教大学(ICU)卒業(1997年)
 - 日本政治思想史を専攻
- 教育雑誌、学術書等の編集者等を経て、
- 1999年～2009年、ヤフー株式会社に在籍
 - Yahoo!カテゴリ、Yahoo!検索、Yahoo!知恵袋(後述)、Yahoo!検索ランキング、Yahoo!ラボ等の企画・設計・運用、また産学連携のコーディネートに従事

自己紹介－岡本真（おかもと・まこと）

□ 兼任（大学関係）：

- 国立情報学研究所 産学連携研究員
- 東京大学 工学系研究科 総合研究機構 研究員
- 早稲田大学 ITバイオマイニング研究所 客員研究員
- その他、北海道大学、流通科学大学、兵庫県立大学、追手門学院大学、横浜市立大学、関西大学、甲南大学、大阪市立大学等で講義を担当

自己紹介－岡本真（おかもと・まこと）

□ 兼任（図書館関係）：

- 図書館総合展運営委員会委員
- U40 - Future Librarian事務局メンバー
- 任意団体Code4Lib JAPAN事務局長
- 第25期東京都立図書館協議会委員
- 国立国会図書館デジタル情報資源ラウンドテーブル委員
- マイニング探検会（図書館の未来を探る勉強会）共同主宰者

[参考]

アカデミック・リソース・ガイド株式会社

□ 創業:

- 2009年9月30日

□ 前史:

- 1998年7月11日創刊のメールマガジン
“ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)”

□ ビジョン:

- 「学問を生かす社会へ」

□ 体制:

- 役員1名＋パートナー2名＋インターン3名



[参考]

ACADEMIC RESOURCE GUIDE

- 1998年7月創刊、週刊、5000部、無料
- 「インターネットの学術利用」がテーマ
- 約150人の執筆者、約480回の発行



[参考]

アカデミック・リソース・ガイド株式会社

□ 業務:

1. インターネットサービスの企画、開発、運用
2. インターネット活用の研修、コンサルティング
3. ウェブ技術に関わる産官学連携のコンサルティング、仲介
4. 地域社会の活性化に関わるコンサルティング
5. 前各号に附帯する執筆、出版、講演、講義
6. 前各号に附帯する一切の事業

本日の構成

- 序論：大学図書館の使命と役割
 - ー電子書籍を巡る議論の前に
- 本論：大学図書館の使命と役割
 - ー電子書籍の時代に
- 結論：大学図書館の使命と役割
 - ー電子書籍の時代に囚われずに

序論：大学図書館の使命と役割

－電子書籍を巡る議論の前に



前提一大学設置基準における「図書館」

□ 第三十六条(校舎等施設)

- 大学は、その組織及び規模に応じ、少なくとも次に掲げる専用の施設を備えた校舎を有するものとする。ただし、特別の事情があり、かつ、教育研究に支障がないと認められるときは、この限りでない。

- 一 学長室、会議室、事務室
- 二 研究室、教室(講義室、演習室、実験・実習室等とする。)
- 三 図書館、医務室、学生自習室、学生控室

前提－大学設置基準における「図書館」

□ 第三十八条(図書等の資料及び図書館)

大学は、学部の種類、規模等に応じ、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。

2 図書館は、前項の資料の収集、整理及び提供を行うほか、情報の処理及び提供のシステムを整備して学術情報の提供に努めるとともに、前項の資料の提供に関し、他の大学の図書館等との協力に努めるものとする。

3 図書館には、その機能を十分に発揮させるために必要な専門的職員その他の専任の職員を置くものとする。

4 図書館には、大学の教育研究を促進できるような適当な規模の閲覧室、レファレンス・ルーム、整理室、書庫等を備えるものとする。

5 前項の閲覧室には、学生の学習及び教員の教育研究のために十分な数の座席を備えるものとする。

参考一図書館法における「図書館資料」

□ 第三条(図書館奉仕)

図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。)を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。

大学設置基準における「図書館」 の使命と役割－5つの観点に絞って

1. 資料の収集・整理・提供
2. 情報処理による学術情報の提供
3. 資料の提供での他大学図書館との協力
4. 専門的職員の配置
5. 閲覧室、レファレンス・ルーム等の整備

本論：大学図書館の使命と役割

－電子書籍の時代に



電子書籍時代という観点からの現状

1. 資料の収集・整理・提供

現状

- 電子ジャーナルへの対応
- 機関リポジトリ構築

課題

- 電子書籍への対応
- ウェブ情報への対応

電子書籍時代という観点からの現状

1. 資料の収集・整理・提供

現状

- 電子ジャーナルへの対応
- 機関リポジトリ構築

求められるe-Scienceへの対応
ービッグデータ、オープンデータの時代

課題

- 電子書籍への対応
- ウェブ情報への対応

電子書籍時代という観点からの現状

2. 情報処理による学術情報の提供

現状

- Webcat/CiNiiの構築
- 学術ポータルの模索

課題

- 学内システムの乱立
- 学術ポータルの終焉

電子書籍時代という観点からの現状

2. 情報処理による学術情報の提供

現状

- Webcat/CiNiiの構築
- 学術ポータルの模索

求められる包括的ウェブ戦略
ー汎インターネットの時代

課題

- 学内システムの乱立
- 学術ポータルの終焉

電子書籍時代という観点からの現状

3. 資料の提供での他大学図書館との協力

現状

- ILLの普及
- 機関リポジトリの貢献

課題

- ILL格差の存在
- 限定されたILLの範疇

電子書籍時代という観点からの現状

3. 資料の提供での他大学図書館との協力

現状

- ILLの普及
- 機関リポジトリの貢献

求められる資料の再定義
ーソーシャルメディアの時代

課題

- ILL格差の存在
- 限定されたILLの範疇

電子書籍時代という観点からの現状

4. 専門的職員の配置

現状

- 様々な職員問題と希望
- デジタル対応研修の増加

課題

- デジタル専門性の軽さ
- デジタル企画技能の軽視

電子書籍時代という観点からの現状

4. 専門的職員の配置

現状

- 様々な職員問題と希望
- デジタル対応研修の増加

求められるライブラリアンの専門性再定義
ー総キュレーター論の時代

課題

- デジタル専門性の軽さ
- デジタル企画技能の軽視

電子書籍時代という観点からの現状

5. 閲覧室、レファレンス・ルーム等の整備

現状

- ラーニングコモンズの盛況
- Q&Aサイトに圧倒されるレファレンス

課題

- 運用で躓くラーニングコモンズ
- 実践されないレファレンス再定義

電子書籍時代という観点からの現状

5. 閲覧室、レファレンス・ルーム等の整備

現状

- ラーニングコモンズの盛況
- Q&Aサイトに圧倒される
レファレンス

求められる実空間デザイン
ー学習環境リデザインの時代

課題

- 運用で躓くラーニングコモンズ
- 実践されない
レファレンス再定義

結論：大学図書館の使命と役割

－電子書籍の時代に囚われずに



[再掲]大学設置基準における「図書館」の使命と役割－5つの観点に絞って

1. 資料の収集・整理・提供
2. 情報処理による学術情報の提供
3. 資料の提供での他大学図書館との協力
4. 専門的職員の配置
5. 閲覧室、レファレンス・ルーム等の整備

電子書籍時代における大学図書館の 使命と役割ー大学設置基準に基づいて

1. 資料の収集・整理・提供

- 求められるe-Scienceへの対応ービックデータ、オープンデータの時代

2. 情報処理による学術情報の提供

- 求められる包括的ウェブ戦略ー汎インターネットの時代

3. 資料の提供での他大学図書館との協力

- 求められる資料の再定義ーソーシャルメディアの時代

4. 専門的職員の配置

- 求められるライブラリアンの専門性再定義ー総キュレーター論の時代

5. 閲覧室、レファレンス・ルーム等の整備

- 求められる実空間デザイナーー学習環境リデザインの時代

電子書籍時代における大学図書館の
使命と役割ー大学設置基準を離れて

使命と役割の上 にあるものの自己規定 自律的に存在する ビジョンの確立

[PR] saveMLAKプロジェクト



メインページ

コミュニティ・ポータル

最近の出来事

最近の更新

井戸端

ヘルプ

▼ ツールボックス

リンク元

関連ページの更新状況

最新の情報に更新

特別ページ

印刷用バージョン

この版への固定リンク

プロパティを閲覧

ページ

議論

閲覧

ソースを表示

履歴表示

検索



- イベント 第2回saveMLAKうきうきウィキ祭り (4月30日 10:00-24:00 於:全国各地) 第1回 (4月24日 於:全国各地) の成果報告はこちら
- イベント 緊急討議「東日本大震災 被災支援とMLAK いまわたしたちにできることは」 (4月23日 於:学習院大学) - 開催終了。USTREAMのアーカイブあり

saveMLAK

博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報

日本語 | [English](#)

saveMLAKは博物館・美術館(M)、図書館(L)、文書館(A)、公民館(K) (M+L+A+K=MLAK)の被災・救援情報サイトです。被災地域の各施設の被災情報を集め、必要とされている情報を発信しています(より詳しく)。

館種・地域別の情報

[#saveMLAK](#)

館種別

被害報告のあった施設

ツイッター上の #saveMLAK

<http://savemlak.jp/>





[PR]

Code4Lib JAPAN

- ミッション
 - 「日本の図書館をやばくする」
- 具体的には、
 - ウェブ技術活用の経験とスキルの飛躍的向上を図り、
 - Workshopの定期開催(ビギナー向け)
 - Campの開催と海外派遣(エキスパート向け)
 - 各種提言のとりまとめ
 - グッドプラクティスの選定
 - そして、組織そのものの持続的運営
- そのために、
 - Workshopの誘致(参加費以外の開催費用はすべて当方負担)
 - サポーター(個人)／スポンサー(法人)制度への加入



ご清聴に感謝、ご質問はお気軽に



岡本真

アカデミック・リソース・ガイド株式会社
代表取締役／プロデューサー